



ある高校の授業を参観して感じたこと

9月にある高校の授業を参観しました。中学生で不登校だったり、勉強についていけなかったりした生徒たちの様子を見てもらって、色々アドバイスをしてほしいという依頼を受けたからです。

今年度からその高校では、「教育のユニバーサルデザイン(UD)化」の都の指定校になっていると、その高校の先生から伺いました。(因みにユニバーサルデザインとは、年齢や障がいの有無にかかわらず、最初からできるだけ多くの人が、利用可能であるようなデザインのことです) また、それを受けてその高校が、特に以下のことに力を入れていることを知りました。

(1) 授業づくりについて

集中できる授業展開、板書や机間指導、発問やペア学習などを通じて、思考を共有するなどを工夫する。

- ・「目標」、「流れ」、「まとめ」、「→」などのカードを活用して、授業の目標や展開を視覚化する。
- ・チャイムで授業を始め、終わらせることによって、開始と終了を明確にする。
- ・活動をさせる際には、タイマーを用いる。
- ・高校1年生においては、1コマの授業時間を40分とする。

(2) 教室の環境づくりにおいて

教室の低刺激化や視覚化を行い、生徒が安心して生活ができて、居心地がいいと思える環境づくりをする。

- ・教室に不要なものは置かずに、整理整頓をする。
- ・授業が始まるまでに、黒板をきれいにしておく。
- ・黒板の周囲など、生徒の視界に入る場所に掲示物を貼らない。

(3) 人間環境づくりにおいて

教職員の深い生徒理解によって、特性のある生徒との関わりをモデル化する。また、生徒同士の相互理解を深め、生徒一人一人が安心して、「わからない、できない」と言える人間関係を作っていく。

- ・自立支援プログラムや、コミュニケーション向上事業を活用していく。
- ・教師が生徒を否定しないように心がける。

これらはどれも、生徒の集中力や理解力、生徒の教師に対する信頼感を高めるために必要なことです。実際に私も、授業前に黒板をきれいにするなど、それらの多くのことを実践しています。ただ、いくら教師が指導方法を工夫しても、生徒がやる気にならない限り、それが無駄になってしまうように思います。だから、授業の指導方法に力を入れるのはもちろんですが、もっと生徒に例えば専門学校や職場、他の高校の授業を体験させるなど、将来のことを考えさせる機会を、もっと増やしてみたらどうかお話をしました。

君たちの中で将来の目標がはっきりしている人は、ほとんどいないと思います。ただそれは高校生も同じであることを、授業を参観していて痛感しました。君たちも自分のよさとは何か、それを伸ばすためにはどうしたらいいかを、今のうちからぜひ考えるようにしてください。

来週の予定

23日(月)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)	28日(土)
・ 振替休日	・ 後期時間割(始) ・ 生徒総会リハーサル ・ 3年進路説明会⑥	・ 生徒総会 ②カット	・ 舞台発表会 リハーサル	・ 舞台発表会 (生徒向け)⑤⑥	・ 土曜学校公開 ・ 道徳授業地区公開講座 ・ 舞台発表会 (PM：保護者向け)

土曜日の時程

8:45～9:30	1校時授業(月②の授業)
9:40～10:25	2校時授業(月③の授業)
10:35～11:20	3校時授業(月④の授業)
11:30～12:20	4校時授業(月①:学活)
	校庭で通し練習
12:30～13:00	給食(弁当給食)
13:00～13:20	昼休み
13:35～	校庭へ移動
13:40	整列完了
13:45	歌唱練習
13:55	来賓着席
14:00～14:45	開校記念式典
15:00	生徒退場
15:30	生徒下校

開校記念式典 次第

〈第1部〉 14:00～14:30

- ① 開式の辞
- ② 国歌斉唱
- ③ 区歌斉唱
- ④ 学校長式辞
- ⑤ 校旗授与
- ⑥ 来賓祝辞
- ⑦ 来賓紹介
- ⑧ 生徒代表誓いの言葉
- ⑨ 閉式の辞

〈第2部〉 14:35～14:45

- ① 校歌披露

小松川中学校校歌の歌詞をご紹介します

さわやかな風^{かぜ}に 校舎^{こうしゃ}が光^{ひか}る 都^{みやこ}の東^{ひがし} 溢^{あふ}れる笑^{えが}顔^お

生^いきる力^{ちから}をつかむのだ ここで一^{いっ}歩^ぽが踏^ふみ出^だせる

見^みえないものを見^みよう 夢^{ゆめ}に向^むかって歩^{ある}こう

心^{こころ}寄^よせ合^あい 認^{みと}め合^あい 漕^こぎだそう 海^{うみ}へ

花^{はな}々の下^{した}の 大^{だい}地^ちの力^{ちから} 真^{ます}澄^{すみ}の空^{そら}の上^{うへ}に 星^{ほし}々^{ほし}

心^{こころ}の奥^{おく}をみつめれば やさしく強^{つよ}くなれる

理^り想^{そう}を高^{たか}くかかげ 自^じ分^{ぶん}を信^{しん}じて歩^{ある}こう

技^{わざ}と英^{えい}知^ちを磨^{みが}きつつ 漕^こぎ出^だそう 世^せ界^{かい}へ

こまつがわ ぼこう
小松川 わが母校

